

「10」の読み

いきなり読みの問題。マラソンで10位
でした。「10位」を「10着」にかえて
「10位」と「10着」の両方を教えてください。
多くの人が「ジュウイ」と「ジュツチャク」
と答えるのではないだろうか。

「10着」の「ジュツチャク」はまちがいで、
「ジツチャク」が正しいと言われると、疑問
をいただく人が多くなってきている。

「10個、10匹、10本、10件、10票、10回、
10階、10か所、10世帯、10杯、10発、
10分、10歳…」など、「10」に助数詞がつ
いて「10」の読みの最後が促音になる場合、
多くの人が「10」を「ジュツ」と発音してい
るのではないだろうか。

放送ではすべて「ジ(ユ)ツ」として、「ジツ」
を用い、「ジュツ」は許容としている。この
ため、「ジツ」と読むところを「ジュツ」と発
音しても許されるとなっているのが、放送
の現状である。

しかし、「十干十二支」「十中八九」「十手」
「十把一からげ」など、成句になったことば
は、先輩から「ジツカンジュウニシ」「ジツ
チュウハク」「ジツテ」「ジツパヒトカラゲ」
だと教えられた記憶がある。

ところで、現在小学校で「十回」にふりが
なを付けなさいという問題が出され「じゅっ
かい」と書くと、まちがい。「じっかい」と

書かなければ正解にならない。

そもそも混乱の原因となっているのは、小
学校1年で習う「十」の漢字の読み「ジュツ」
がないからだ。

昔は「十」の読みは「ジフ」だった。歴史
的なことは割愛するが、今の常用漢字表が
1981（昭和56）年に、作られたときに、「十」
の読みは「ジュウ・ジツ・とお・と」のみで、
多くの人が発音している「ジュツ」が採用さ
れなかった。

「ジュツ」を明記しなかったことが、今、
教育現場や放送の世界で混乱を引き起こし
ている。

「10+助数詞」については、新聞協会の放
送分科会でも議論されている。

各局のアナウンサーは、「10着」の場合
「ジツチャク」ではなく「ジュツチャク」と発
音するほうが多いという意見だった。

現在、文化審議会・国語分科会で常用漢
字の見直しが検討されている。

限られた時間のなかで、今後の指針となる
常用漢字を制定するのは、さまざまな意見が
あると思う。追加する漢字、削除する漢字な
どについての審議はたいへんな作業だろう。

そのなかで、漢字の読みについても、ゼ
ヒ審議を重ねてほしいと願っている。

坂本 充（さかもと みつる）